

# 高等学校地理Aにおけるワンポイント巡検の実践事例

今井英文（岡山市立岡山後楽館高等学校・非常勤講師）

- 1 対象学年・学級：高等学校3年生、地理A選択者、5クラス（75人）
- 2 教科・科目：地理A
- 3 対象地域：岡山市北区南方周辺
- 4 単元名：「身近な地域の調査」（全4単位時間 ※1単位時間は100分）
- 5 単元の目標

- 1) さまざまな地図を見て、それぞれの地図の特色について考える。
- 2) 地形図の読み方を復習し、地形図に収録されている地域の特色について考える。
- 3) ワンポイント巡検を通じて、地図を活用し、学校周辺の地域性について考える。

## 6 単元の指導計画

学習内容	学 習 活 動
1 色々な地図	岡山市内の地図（地形図、ハザードマップ、バス路線図、観光地図）を見て、それぞれの地図の特色について考える。それを通して、地図とは何かを理解する。
2 地形図のルール	中学校までに学習した地形図の読み方（方位・縮尺・等高線・地図記号など）について復習する。
3 地形図の読図	全国のさまざまな地形図を読み、地形図から読み取れる地域の特色について考える。
4 ワンポイント巡検（本時）	実際に地図を活用し、学校周辺の地域性について考える。

（※学習内容の左の数字は、時数である。）

## 7 ワンポイント巡検の実践

### （1）テーマと目標

ワンポイント巡検のテーマは、「地図をみて学校のまわりを歩いてみよう！」である。目標は、1) 地図を実際に活用する力を身に付けさせること、2) 学校周辺が都心部ないしは準都心部に立地していることに気づかせることである。

### （2）実践年月：2013年5月上旬

### （3）実施形態

地理Aの1クラス単位で実施した。引率は筆者のみである。本校の1単位時間は100分なので、教室内での巡検の説明、ワンポイント巡検の実施、その後の解説をすべて授業時間内に行った

### （4）ルートマップ：後述（※ワークシートを兼ねる）

### （5）観察方法

生徒を個々に校外へ赴かせ、ワークシートの設問に答えながら自由に観察を行わせた。筆者は説明を行わず、生徒の安全確保と進捗確認のため、自転車で巡回した。

### （6）観察ポイント（ワークシートの問題の答え）

- ①0.9m ②北から南 ③約140m ④番町交差点 ⑤裁判所 ⑥弁護士会館 ⑦交番 ⑧トマト銀行 ⑨ベネッセ ⑩イ) 一戸建てとマンション

## 8 今後の課題

本校は、2012年4月に現校地に移転してきた。そのため、ワンポイント巡検は、生徒が学校生活を送る上でも意義があるといえる。生徒の感想文にも、そのような記述が見られた。ワークシートの設問の解答状況を見ると、観察力に関する設問（⑤、⑥、⑧、⑨、⑩）の正答率が最も高く、読図力（①、②、③、④、⑦）が最も低かった。今後の課題としては、1) 生徒の発達段階に応じた観察力の測定方法を開発すること、2) 読図力を高めるための指導を充実させること、3) さまざまな巡検方法に対応した評価内容・評価方法を検討することである。

